

～～第8437回～～

不動岳

～H30. 5. 19-20～

久しぶりの不動岳登山であった。週初めの天気予報では悪天候が予想されたが、予想が外れ好天気の中で実施した。浜松支部2名、磐田支部1名、藤枝支部2名の計5名にて出発した。浜松Pから国道152号線を北上し、途中、今年2月の大雨で崩落した場所を避け、秋葉ダムから瀬尻橋まで迂回した。この152号線沿いの崩落は大規模の為、長い期間の通行規制が予想される。途中、天竜警察署水窪分署に登山計画書を提出した。その時、今年4月末の不動岳遭難事故の説明を聞き、登山の危険性を感じ、より一層身の引き締まる思いであった。水窪ダム湖畔で昼食をとった。まだ時間的に余裕があった為、奈良代林道中腹まで車で悪路を進み、寄り道をした。ここは明日登る山の展望地であり、麻布山、前黒法師山、バラ谷山、黒法師岳の大展望に満喫した。13:30戸中山林道ゲート前に駐車し、そこから7km先の不動岳登山口に向かって林道を歩いた。途中、葵沢橋の先で林道の崩落があり、不動岳登山口を確認の偵察を行った。登山口の無事を確認し、林道の膨らみ場所でテント泊した。翌日4:00起床し、朝食後5:00に出発した。するといきなり1200mから1500mにかけての急登が続いた。ヤブ枯れの中、踏み跡も不明瞭であった。満開の山つつじに心打たれ進んでいくと鎌崩岳分岐に出た。そこからは深いヤブが続き、10:00鹿ノ平に着き昼食をとった。濃いガスの為いまだ不動岳山頂は見えなかった。11:30ようやく不動岳山頂に到着した。山頂での休憩を早々と切り上げ、下山を開始した。長い下りであったが、午後になると晴れ、展望も良好となった。大無間山、朝日岳、前黒法師岳を眺めながら慎重に下った。1500m付近からは、踏み跡が薄く、赤札を確認しながら下って行った。17:00にようやく登山口に到着し、テントを撤収した。それから7kmの長い林道を黙々と歩き、19:00に駐車してあった戸中山林道ゲートに到着した。暗くなるぎりぎりのセーフであった。

参加者：5名

天候：晴れ

地図：寸又峡温泉・水窪湖

コースタイム：(19日)戸中山林道ゲート1330…不動岳登山口1600

(20日)不動岳登山口500…鎌崩岳分岐900…鹿ノ平1000…不動岳山頂1130…鎌崩岳分岐1400…不動岳登山口1700…戸中山林道ゲート1900

備考：事前に天竜森林管理局へ入山届(登山道、林道)と状況説明をした。下山後、天竜警察署水窪支署へ下山報告をした。

記録：浜松支部 滝澤